

信濃川下流域の減災に係る取組について

減災のための目標

■5年間で達成すべき目標

平成16年・23年の新潟・福島豪雨の教訓と流域特性を踏まえ、水害に強い信濃川下流域づくりを推進する中で、大規模水害に対し、関係機関がさらに連携・切磋琢磨して、

『適時的確な避難』『氾濫被害の最小化』 を目標とする。

※大規模水害 ……信濃川下流域で想定し得る最大規模の降雨に伴う水害。

※教訓 ……平成16年水害以降の各種対策の効果は発揮されたが、流域の上中下流は、水害リスクを分かち合うべき運命共同体であり、現状の安全度を上回る洪水等の水害リスクを評価・理解・共有し、対策を検討する重要性が再認識されたこと。

※水害に強い信濃川下流域づくりを推進 ……国・県・市町村等の関係機関は「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」を設立(H25.5)し、連携・切磋琢磨して、水害リスクを共有し、下流域全体の地域防災力向上に取り組んでいる。

※適時的確な避難 ……住民自らがリスクを察知し、個々人の状況に応じた、適切なタイミングや方法で避難できる状態。

※氾濫被害の最小化 ……大規模降雨に伴う氾濫被害を軽減し、社会・経済活動等を一刻も早く再開できる状態。

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

信濃川下流等において、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を安全に流すための対策に加え、以下の取組みを実施。

1. 信濃川下流等の大規模水害の特徴を踏まえた**避難のための取組**
2. 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための**水防や流域対策の取組**
3. 一刻も早く社会・経済活動等を回復させるための**排水活動や協働の取組**

※信濃川下流等 ……直轄管理区間の他、上流の支川、洪水氾濫域が重複する支派川等を含む。

項目	減災のための取組項目(概ね5年間)				北陸地整		新潟県		新潟県地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局		
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
⑥参加市・町・村による広域避難計画の策定及び支援	D.E	H28年度から順次実施	計画規模洪水・想定最大規模洪水に対する広域避難計画の検討・策定・支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援する。	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村間の調整や運営上の課題への支援	引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・広域避難の現実性について検討する。	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定 ・想定最大規模の降雨による浸水を考慮した広域避難計画の検討	引き続き実施	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定 ・広域避難の現実性について検討	H28年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・北陸地整、関係市町と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討
				・作成に必要な情報を提供	引き続き実施	・引き続き作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・必要に応じて市町村間の調整や運営上の課題への支援。	引き続き実施	・引き続き作成に必要な情報の提供及び策定を支援。	引き続き実施	・検討中。【H29.3現在】	H28年度から順次実施	・新潟県からの情報提供後に実施予定。	H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定・遠隔地災害時相互応援協定 ・想定最大規模の降雨による浸水を考慮した広域避難計画の検討。	引き続き実施	・検討中。	引き続き実施	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討中。	引き続き実施	・関係機関と引き続き検討。	引き続き実施	・検討中。	引き続き実施	・遠隔地災害時相互応援協定(長野県、青木村とH28.7に災害時相互応援等に関する協定締結)。	一部実施、引き続き検討	・引き続き検討。	引き続き実施				
⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D.E.F	H28年度から順次実施	洪水ハザードマップの改良・周知	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進する。	H28年度から実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進する。	順次実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。	新潟県からの情報提供後により実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの策定を行い、全戸配布により周知	H29年度以降実施	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・新潟県からの情報提供後から実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの作成 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・避難所の災害別区分化、災害別表示版の設置の検討 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降検討
				・機会を捉えた周知、活用促進。	引き続き実施	・検討中。	引き続き検討	・来年度に予定されている新潟県からの情報提供(浸水想定区域図)後にハザードマップの改良に向けた検討を実施するため、来年度予算の要求をしている。	・新潟県からの情報提供後から実施	・新潟県からの情報提供後により実施	・新潟県からの情報提供後により実施	・作成に向けて検討中。	引き続き実施	・今後公表される刈谷田川の浸水想定区域と併せて検討中。	引き続き実施	・避難所看板は平成28年度着手し、平成29年度に完成予定。 ・ハザードマップは平成29年度に作成予定。	引き続き実施	・H29年度にハザードマップの作成を予定。	H29年度実施予定	・ハザードマップ作成の策定。	H29年度、引き続き検討	・ハザードマップ作成にに向けた調査・研究を実施。	引き続き実施								
⑧水位予測の検討及び精度の向上	B.M	H28年度から検討	水位予測の検討及び精度の向上	・現状予測期間(～3時間)・更に数時間(4～6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	H28年度から実施	・上流水位局による下流水位予測を検討する。	H29年度以降検討																								
				・H28年度より水位予測を6時間まで予測する。 ・出水後に予測精度の検証を行う。	引き続き実施	・水位観測所地点における横断測量を実施中。	引き続き実施																								
⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善	J	H29年度	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善	・警戒等における危険度の色分け表示 ・「警戒級の現象」になる可能性の情報の提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度出水期から実施																										
				【H28.6.8】「危険度の色分け表示」 「警戒級の可能性」の試行として提供開始。	H29年度出水期から実施																										
⑩関係機関が連携した訓練の実施	C.I.J	引き続き実施	洪水対応演習、水防訓練等の実施	・洪水対応演習の実施 ・ブラインド型水害対応訓練の実施	引き続き実施	・洪水対応演習の実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・信濃川下流河川事務所等との合同訓練の実施	H28年度実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・市、消防組織、水防団の連携した訓練を毎年実施。今後も関係機関の連携に努めた訓練を実施する。	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・洪水対応演習により実施	引き続き実施	・平成28年3月に土地改良施設管理者のための業務継続計画(BOP)策定マニュアルを策定。施設管理者におけるBCP策定の取り組みを進める。	平成28年度～平成32年度まで
				・【H28.5.27】洪水対応演習実施。 ・【H28.7.4】三条市と合同でブラインド型訓練を実施。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習を実施(新潟、新潟、三条、長岡)。 ・【H28.5.29】信濃川下流水防訓練へ参加(新潟、新潟)。 ・【H28.5.15】信濃川中流水防訓練へ参加(長岡)。 ・【H28.6.19】見附市防災訓練に参加(刈谷田川遊水地警戒情報発信施設の動作確認実施)(長岡)。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習を実施。 ・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	引き続き実施	・【H28.6】出水期前の水害対応総合防災訓練の実施。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。同時に下条川ダムと情報伝達訓練を実施。	引き続き実施	・【H28.6】関係機関が連携した総合防災訓練を実施	引き続き実施	・【H28.5.15】(中流域)訓練を実施。	引き続き実施	・【H28.6】出水期前に市主催の水防訓練を実施。	引き続き実施	・【H28.10.2】訓練を実施。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	引き続き実施	・【H28.5.27】洪水対応演習により実施。	引き続き実施	・平成28年8月に新たな土地改良長期計画における成果目標として、「大規模地震等に備えて業務継続計画(BCP)を策定した土地改良区」の約100地区が掲げられ、平成32年度までに目標達成に向けて策定推進を努める。	引き続き実施		

【信濃川下流域】各機関におけるハード対策実施状況 1/2 (H28.8.1時点)

項目	事項	No.	ハード対策		ハード対策の実施状況			備考		
			対策項目	主な内容	機関	H26年度まで	H27年度		H28年度	
									～7月	8月～
1 ハード対策の主な取組	■洪水を河川内で安全に流す対策	1	河道掘削	信濃川本川(H23.7出水時のHWL超過区間対応)	国			※以降も継続	「再構築ビジョン取組(様式1取組一覧)」参照 他地区と調整必要	
				整備計画目標流量の流下能力確保						
				閑屋分水路				※H29.3完(予定)		
	2	築堤	大川津地区	国	※H24完					
			西野地区				※以降も継続			
			中ノロ川(H23水害対応:漏水対策、計画堤防高の確保)	県			※以降も継続			
		河川整備	加茂川・下条川(H23水害対応:計画堤防高の確保)	県			※以降も継続			
			下条川の河道拡幅(H23洪水規模での浸水被害解消)	県			※以降も継続			
			中ノロ川、加茂川、下条川(河川整備計画対応)	県			※以降も継続			
	3	災害復旧	災害復旧	国	(※完)					
			五十嵐川改良復旧	県			※以降も継続			
	■流出抑制対策	4	流出抑制対策	五十嵐川改良復旧(遊水地・ダム嵩上げ)	県			※以降も継続		
				地下貯留施設(雨水貯留管)による浸水対策	新潟市			※以降も継続		
	■内水対策	5	内水対策	田んぼダムの活用	新潟県			※以降も継続		
					新潟市			※以降も継続		
三条市							※以降も継続			
加茂市					※H22完(白根郷土政区域)					
見附市					※H26.3完		※改良(見附市モデル)H27.3完			
田上町							※以降も継続			
調整池等の整備				新潟市			※以降も継続			
				三条市			※H29.3完(予定)			
				燕市			※H29.3完(予定)			
				田上町			※以降も継続			

【信濃川下流域】各機関におけるハード対策実施状況 2/2 (H28.8.1時点)

項目	事項	No.	ハード対策		ハード対策の実施状況			備考		
			対策項目	主な内容	機関	H26年度まで	H27年度		H28年度	
									～7月	8月～
1 ハード対策の主な取組	■内水対策	5	内水対策	排水ポンプ車更新・増強	国			※以降も継続	「再構築ビジョン取組(様式1取組一覧)」参照	
				布施谷川・新川排水路下流部の内水対策(ハード・ソフト)	県 三条市			※以降も継続		
				貝嶮川下流部の内水対策(排水機場ポンプ増強)	県			※H28.3完		
				新通川・島田川の河道拡幅	県			※以降も継続		
				排水系統整備	雨水排水ポンプ場の整備(白根水道町、山田)	新潟市				※H30年度完(予定)
						新通川・島田川沿線排水区域内内水対策事業				※H31完(予定)
						直江町三丁目内排水区域内内水対策事業				※H28.3完
						吉津川流域内水対策事業				※H27.3完
						興野一丁目内排水区域内内水対策事業				※H27.3完
						須頃郷地区排水対策事業				※H21完
						須頃郷地区内水対策事業				※H29.3完(予定)
						塚野目大排水路改良事業(橋梁等)				※H28.1完
						間野川排水路改良事業				※H27.3完
						裏館第1雨水幹線排水区域内内水対策事業(公共下水含む)				※H30.3完(予定)
						東三条第1雨水幹線排水区域内内水対策事業				※H21.3完
						輪之内ポンプ場排水区域内内水対策事業				※H27.5完
						ポンプ場整備	新通川沿線ポンプ場改良事業			
				東光寺ポンプ場整備事業				※H19完		
				西大崎地内排水ポンプ整備事業				※H27.6完		
				雨水排水ポンプ場のポンプ増設整備(下条川左岸区域)				※H24完 → ※H27.完		
				普通河川赤谷川の整備	加茂市			※H20完		
西加茂第一排水区①新栄町雨水幹線・②高須町雨水幹線の整備				※①H18完 ※②H24完						
見附市合流式下水道緊急改善事業(雨水貯留管・緊急排水ポンプ)	見附市			※H22完						
須頃郷1号排水路整備事業	燕市			※H29.3完(予定)						
■整備等の	6	その他	小須戸橋右岸対応(水防資材の配置)	国			※水防対応箇所改善H24.8完 ※水防資材の配置			
			瑞雲橋左岸対応(三条防災ステーション内の水防資材配置)				※水防資材の配置H26.10覽書締結			
			防災施設を備えた公園の整備	三条市			※H28.7完			

※事業の実施スケジュールについては、現時点における社会経済状況等を前提としているため、今後の社会経済状況の変化や新たな知見等に基づいて見直しを行う場合があります。

【信濃川下流域】各機関におけるソフト対策実施状況 5/5 (H28.8.1 時点)

項目	事項	No.	対策項目	主な内容	機関	ソフト対策の実施状況				備考				
						H26年度まで	H27年度	H28年度						
								~7月	8月~					
2 ソフト 対策 の 主 な 取 組	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	10	地域防災力向上のための取組	住民に対する防災情報等に関する啓発・協力	県	※H24.4~5に準備、以後継続	→							
				消防団員に対する避難情報対応に関する啓発・協力	県	※H24.4~5に準備、以後継続	→							
				洪水に関する防災教育プログラム制作	新潟市	※H26.2	→							
				自主防災リーダー研修会	新潟市	※H14~	→							
					三条市	※H2.11~自主防災リーダー研修会 ※H26.1~名称を変更し「強いまちづくりワークショップ」に変更し、内容・周知方法を見直し	→							
					燕市	※H24~ 毎年開催	→							
					五泉市	※H22.9~	→							
					見附市	※H19~	→							
				避難支援セミナー	新潟市	※H26~	→							
				防災士養成講座	新潟市	※H18~ 毎年開催	→							
中越市民防災安全大学の開講(地域の防災リーダーの育成)	長岡市	※H18~ 毎年開催	→											
水害を想定した避難訓練	長岡市	※毎年実施(地域によっては、地震想定の場合もある)	→											
	三条市	※H17.6~	→											
	燕市	※H23のみ	→											
	田上町	※H26.10完	→											
	五泉市	※H27.6完	→											
	見附市	※H17.6~	→											
	弥彦村	※H26~	→											
	新潟市	※H27~ 全市展開	→											
	長岡市	※H27~	→											
	燕市	※H28~	→											
「防災教育」学校・地域連携事業	全小中学校・全学年で防災教育授業の実施	三条市	※H25~	→										
	新潟大学 災害・復興科学研究所との「防災まちづくり」に関する協定	燕市	※H23.9協定締結	→										
	水害に関する防災訓練の実施(毎年6月)	見附市	※H17~	→										
	小・中学生を対象とした防災キャンプの実施	長岡市	※H27.8~	→										
		見附市	※H24.8~	→										
	小学生を対象とした防災キャンプの実施	三条市	※H26.8~	→										
		燕市	※H28~	→										
	町内会へ防災出前講座	長岡市	※H13.4~	→										
		三条市	※H17~	→										
		五泉市	※H19.11~	→										
田上町		※H18~	→											
新潟市		※H13.4~(未決)	→											
防災ステーションの整備	三条市	※H26.5完(上項済)	→											
	見附市	※H3.8完成(道の駅・中野たけがた内)	→											
	国	※H26.5完(三条防災ステーション)	→											
	国・新潟市	※天野防災ステーション	→											
	長岡市	※H22.10~(市民防災公園)	→											
	燕市	※H27.3完成(東町公園)	→											
	燕市	※H27~	→											
	国(気)	※完了	→											
	新潟市	※完了	→											
	見附市	※H26開発	→											
田上町	※H24.2完	→												
田上町	※H27.7完	→												
2 ソフト 対策	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	11	その他	防災マップ作成支援(窪地マップの提供)	燕市	※H27~	→							
				住民に対する防災気象情報の普及・啓発活動	国(気)	※完了	→							
				きめ細かい危険水位の設定資料の提供	国	※完了	→							
				換算水位表示横断図の提供	新潟市	※H26開発	→							
				「にいがた防災アプリ」の開発	新潟市	※H27機能拡張	→							
				「にいがた防災アプリ」の開発	見附市	※H24.2完	→							
				土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定	田上町	※H27.7完	→							
				田上町	※H27.7完	→								
				田上町	※H27.7完	→								
				田上町	※H27.7完	→								

「再構築ビジョン取組」様式1 取組一覧(1)参照

※事業の実施スケジュールについては、現時点における社会経済状況等を前提としているため、今後の社会経済状況の変化や新たな知見等に基づいて見直しを行う場合があります。

減災に係る取組概要 ～新潟市～

(様式2-取組概要)

カテゴリ	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
内容	避難計画策定の推進
実施主体	新潟市(協力:北陸地方整備局、新潟地方気象台、新潟県)

洪水浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の管理者を対象とし、水害・土砂災害時に適切な避難行動がとられるよう、避難確保計画の作成方法や日頃からの備え、災害情報の種類と入手方法などに関する説明会を実施しました。

【実施概要】

- ・ 日 時：平成28年11月30日（水）午前の部：午前10時から、午後の部：午後2時から
- ・ 参加者：要配慮者利用施設の管理者 約350名
- ・ 内 容：① 防災気象情報の活用(新潟地方気象台)
② 水害・土砂災害に備えて(北陸地方整備局河川部)
③ 新潟県からの防災情報等の提供～水害・土砂災害への備え～(新潟県土木部)
④ 社会福祉施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備（市福祉部）
⑤ 避難情報等の伝達手段（市危機管理防災局）



篠田新潟市長 挨拶



説明会に参加した施設管理者



市危機管理防災局からの説明

減災に係る取組概要 ～五泉市～

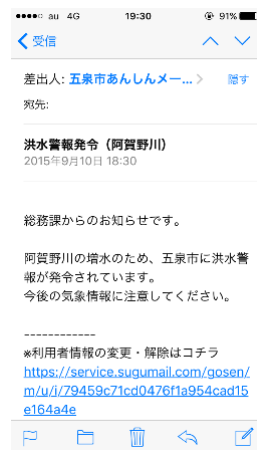
(様式2-取組概要)

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信、防災情報の充実
内容	防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報
実施主体	五泉市

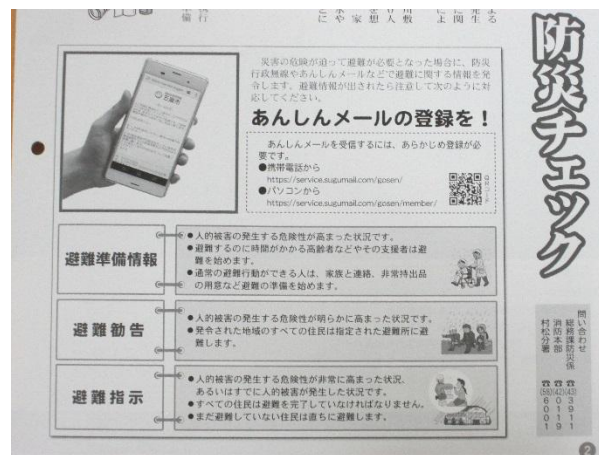
携帯電話やパソコンのメールを利用した五泉あんしんメールについて、更なる普及のため周知・広報を実施しました。

【実施概要】

- ・ 日 時： 随時
- ・ 参加者： 登録者
- ・ 内 容： ① 平成27年1月より運用開始
② 平成29年2月23日登録者 2,420名
② 平成28年6月10日号掲載



五泉あんしんメール



市広報紙(6月10日号)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	小中学校等における水災害教育を実施
内容	出前講座(水害教育)の実施
実施主体	五泉市

川東中学校では、避難所体験を行うことで、防災に対する関心を持たせることを目的にサマーキャンプを実施している。そのカリキュラムの一環として出前講座を実施しました。

【実施概要】

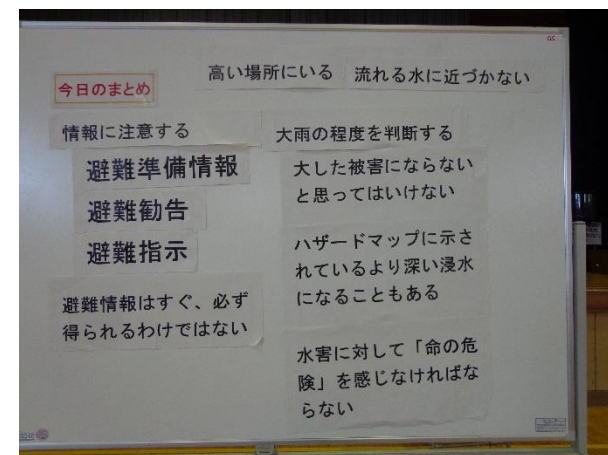
- ・ 日 時：平成28年7月19日（火）9：50～11：10
- ・ 参加者：川東小学校5年生47名・川東中学校1年生37名
- ・ 内 容：① 地域防災について、ハザードマップを活用し、自宅周辺の浸水深の確認
② 避難について、避難の種類、情報の入手方法、自宅から近い避難所の確認
③ 日頃の備えについて、非常時の持ち出し品、家族との連絡方法の確認



防災出前講座(川東中学校)



防災出前講座(川東中学校)



防災出前講座(川東中学校)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内容	自主防災のあり方、役割の(再)啓発
実施主体	五泉市、新潟県

五泉市では、住民の防災意識の高揚と自主防災組織設立及び活性化を図るため、新潟県と共催で自主防災シンポジウムを開催しました。

【実施概要】

- ・ 日 時：平成29年1月14日（土）13：30～16：00
- ・ 講 師：瀧本 浩一（総務省消防庁消防大学校客員教授）
- ・ 参加者：100名
- ・ 内 容：① 基調講演「来たるべき自然災害に備える ～自主防災組織の役割と活動を知ろう！～」
② 自主防災組織の取組事例について、地元自主防災組織より事例発表
③ 自主防災組織補助金、地震保険・共済生徒の説明



基調講演(瀧本講師)



事例発表(東赤海自主防災会)



自主防災シンポジウム参加者(五泉市福祉会館)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練
内容	情報伝達訓練の実施・参加・支援
実施主体	五泉市

五泉市では、水防訓練、防災訓練を通じて関係機関との連携強化を図るため、訓練を実施しました。また、全職員を対象に災害警戒本部設置訓練を行いました。

【実施概要】

- ・ 日 時：水防訓練 平成28年6月5日(日)・災害警戒本部設置訓練 平成28年6月24日(金)・
防災訓練 平成28年9月25日(日)
- ・ 参加者：水防訓練 238名・災害警戒本部設置訓練 560名・防災訓練 657名
- ・ 内 容：①災害警戒本部設置訓練の実施
②防災訓練時、災害対策本部設置訓練・災害情報広報訓練の実施



災害警戒本部設置訓練(五泉市役所)



防災訓練 災害情報広報訓練 (橋田小学校)



防災訓練 災害対策本部設置訓練 (橋田小学校)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	毎年、関連機関が連携した水防実働訓練等を実施
内容	出水期前の水防訓練の実施・情報伝達訓練の実施・参加・支援
実施主体	五泉市

五泉市では、水防訓練、防災訓練を通じて、地域住民の防災意識の啓発を図ると共に、関係機関との連携強化を図るため、訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・ 日 時：水防訓練 平成28年6月5日（日）・防災訓練 平成28年9月25日（日）
- ・ 参加者：水防訓練 238名・防災訓練 657名
- ・ 内 容：①木流し工・T型マット工・積土のう工・月の輪工・釜段工の実施
②災害対策本部設置訓練・災害情報広報訓練・地域住民による避難訓練等の実施
③ AED訓練・起震車・降雨体験車・水消火器による消火訓練等の体験コーナー



水防訓練 木流し工法(早出川河川敷)



水防訓練 水防工法点検(早出川河川敷)



防災訓練 要配慮者安否確認訓練 (橋田小学校)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
内容	水防団員の募集促進
実施主体	五泉市

水防活動の担い手となる消防団員の募集の記事と、マイ消防団パスポート事業の紹介も併せて行いました。

【実施概要】

- ・ 日 時：平成28年5月10日号・平成28年8月25日号
- ・ 参加者：五泉市内全世帯
- ・ 内 容：①市広報紙による消防団員の募集
②消防団員の優遇措置である、「マイ消防団パスポート事業」の紹介

このページは、5月10日号の市広報紙に掲載された記事のスクリーンショットです。左側には「あそび」のコーナーがあり、対象年齢や曜日（4木曜日、3木曜日）が記載されています。右側には「くらしの情報」の欄があり、消防団員の募集に関する記事が掲載されています。記事のタイトルは「自らの地域は自ら守る！ 消防団員募集」です。記事内容は、消防団員は郷土愛の精神で災害対応はもとより、地域の防災力向上のため、積極的に活動しています。また近年の災害により、地域防災の核として消防団の重要性が再認識されています。記事には「お知らせ」のロゴと「就職支援セミナー」の告知も含まれています。

市広報紙(5月10号)

このページは、8月25日号の市広報紙に掲載された記事のスクリーンショットです。記事のタイトルは「自らの地域は自ら守る！ 消防団員募集」です。記事内容は、消防団員は、郷土愛の精神で災害対応はもとより、地域の防災力向上のため、積極的に活動しています。また近年の災害により、地域防災の核として消防団の重要性が再認識されています。記事には「お知らせ」のロゴと「就職支援セミナー」の告知も含まれています。また、右側には「消防団員を応援する 協賛店舗 大募集!!」という募集の告知があり、協賛店舗の募集方法や応募方法が詳しく説明されています。

市広報紙(8月25日号)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内容	水防技術講習会への参加
実施主体	五泉市(国土交通省北陸地方整備局主催)

北陸地方整備局が実施した、水防技術講習会に参加し水防工法の技術の向上を図りました。

【実施概要】

- ・ 日 時：平成28年10月30日（金）
- ・ 参加者：消防職員 1名・消防団員 1名
- ・ 内 容：①積土のう工法の実技訓練
② 木流し広報の実技訓練
③ シート張り工法の実技訓練



水防技術講習会（積土のう工法）



水防技術講習会(木流し工法)



水防技術講習会(シート張り工法)

減災に係る取組概要 ～新潟県 防災局～

カテゴリー	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	(様式2-取組概要)
内容	地域防災交流会議の開催	
実施主体	新潟県（会議運営の受託業者:公益社団法人 中越防災安全推進機構）	

県内3地区に分けて「地域防災交流会議〔地域版〕」を開催し、自主防災組織育成や地域防災活性化に係る課題について意見交換するとともに、先進的な取組について情報共有を行った。その後、地域防災交流会議〔全県版〕を開催し、地域防災交流会議〔地域版〕の成果やモデル的に実施した取組事例について情報提供を行い、地域の主体的な取組の推進に努めた。

【実施概要】

- ・ 日時
 - ① 地域防災交流会議〔地域版〕 平成28年8月23日(火)13:30～16:00 (下越・新潟・佐渡地区)
 - 平成28年8月25日(木)13:30～16:00 (上越・魚沼地区)
 - 平成28年9月2日(金)13:30～16:00 (中越・県央地区)
 - ② 地域防災交流会議〔全県版〕 平成28年10月25日(火)13:30～16:00
- ・ 対象者 市町村防災担当者
- ・ 内容
 - ① 自主防災活性化についての情報共有
 - ② 市町村職員が抱える自主防災組織活性化の課題と解決策の共有
 - ③ 防災士フォローアップモデル事業等の報告、等



地域防災交流会議〔地域版:下越・新潟・佐渡地区〕



地域防災交流会議〔全県版〕

減災に係る取組概要 ～新潟県 土木部～

(様式2-取組概要)

カテゴリ	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	水防資機材の確認整備
実施主体	新潟地域振興局地域整備部

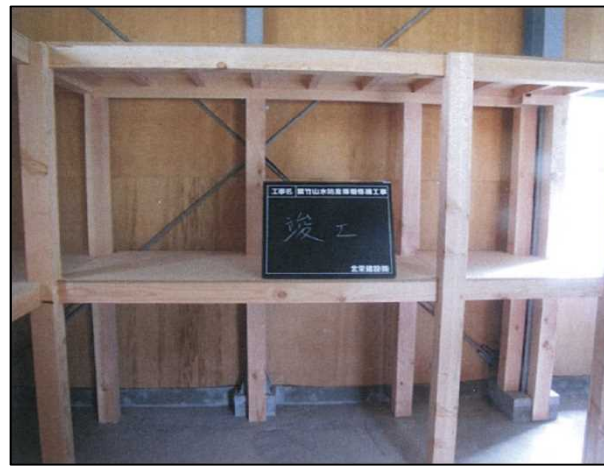
新潟地域整備部では、紫竹にある水防倉庫に棚を設置して水防資機材の収納力及び使い易さの向上を図りました。

【実施概要】

- ・ 実施内容：紫竹の水防倉庫を修繕（棚の設置）
- ・ 工 期：平成28年8月1日～平成28年8月30日
- ・ 整備効果：① 棚設置による空間利用による収納力の向上
② 資機材の整理により使い易さの向上
③ 庁舎移転に伴い、現庁舎で保管している資材も収納（装備の減量化を低減）



水防倉庫修繕前



棚設置完了



収納状況

(様式2-取組概要)

カテゴリ	排水計画に基づく排水訓練の実施、排水機場・水門・樋門等の情報共有
内 容	関係機関が連携した樋門・排水機場の操作訓練の実施
実施主体	三条地域振興局地域整備部、国土交通省、三条市

出水時において、迅速かつ的確な樋門・排水機場の操作を行うため、三条地域振興局地域整備部、国土交通省、三条市が連携して、樋門・排水機場の操作訓練を実施。

【実施概要】

- ・ 日 時：平成28年6月10日(金) 8:30～16:40
- ・ 内 容：① 国管理の樋門操作訓練 (樋門操作は委託先の三条市)
② 県管理の排水機場操作訓練
③ 国による排水ポンプ車の訓練



三条市による樋門の操作訓練状況



排水機場・排水ポンプの排水状況



国による排水ポンプ車の訓練状況

(様式2-取組概要)

カテゴリ	住民を対象とした水防災教育の実施
内 容	小、中学校を対象とした出前講座
実施主体	長岡地域振興局地域整備部

刈谷田川(防災教育、防災スクール)において出前講座を実施

【防災スクール】

- ・ 日 時：平成28年7月19日（火）出前講座、平成28年8月25日（木）現地説明
- ・ 対 象：見附市立名木野小学校 5年生 51名他教員 2名
- ・ 内 容：平成16年7.13水害の被害状況、遊水地の機能を説明
平成23年新潟福島豪雨時の遊水地の効果等、遊水地施設について現地説明

【防災教育】

- ・ 日 時：平成28年8月2日（火）
- ・ 対 象：見附市立見附中学校 2年生 77名他学校職員 7名
- ・ 内 容：平成16年7.13水害、平成23年新潟福島豪雨の概要、遊水地施設の機能・効果の説明



7月19日 名木野小学校



8月25日 名木野小学校



8月2日 見附中学校

(様式2-取組概要)

カテゴリ	見附市と連携した刈谷田川遊水地安全施設作動訓練の実施
内容	遊水地内に越流を想定した安全施設の作動訓練
実施主体	長岡地域振興局地域整備部

遊水地内に越流した事を想定した安全施設の作動訓練の実施及び見附市防災用サイレン音と遊水地内サイレン音の区別を関係地区に周知させることを目的としている。

【作動訓練】

- ・ 日 時：平成28年6月19日
- ・ 出席者：新潟県長岡地域整備部治水課2名、樋門操作委託業者7名、電気設備点検業者1名
- ・ 内 容
 - ①樋門閉扉前遊水地内パトロール（ルート確認及びパトロール完了までのタイム計測）
 - ②安全周知【レベル1】：回転棟、避難アナウンス、疑似音
 - ③遠方操作室からの各種樋門開閉作動確認
 - ④安全周知【レベル2】：避難アナウンス、サイレン吹鳴



遊水地施設作動訓練前打合せ



各池内パトロール状況



遠隔操作による各種樋門の作動確認

減災に係る取組概要 ～新潟地方気象台～

(様式2-取組概要)

カテゴリ	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
内容	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
実施主体	新潟地方気象台

気象庁では、気象警報等に関連して「危険度の色分け」や「警報級の可能性」の提供を、平成29年度出水期を目途に提供を開始する計画です。

平成28年度出水期には、自治体等関係機関にご覧いただけるよう試験的に提供を開始しました。

- 【実施概要】
- ・日時：平成28年6月8日
 - ・内容：危険度を色分けした時系列
警報級の可能性

大雨等の危険度を時系列で視覚的に分かりやすく表示します
～危険度を色分けした時系列～
(平成29年度から)

イメージ

平成〇〇年〇〇月10日 16時30分 〇〇地方気象台発表
〇〇県の注意警戒事項
〇〇県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷に注意してください。

〇〇町
【発表】 大雨, 洪水注意報
【継続】 雷注意報
特記事項 土砂災害注意 浸水注意
1 1日明け方までに大雨警報(浸水害)に切り替える可能性が高い
1 1日明け方までに洪水警報に切り替える可能性が高い

時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示で提供
どの程度の強度(危険度)の現象が、どのくらい先の時間帯(切迫度)に発現すると予想されているのかを、視覚的に把握しやすい形で伝えます。

〇〇町 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象	
	10日					11日						
大雨 (土砂災害) 1時間最大雨量50mm	30	50	50	50	60	60	40					以後も注意報級 土砂災害注意
洪水 (洪水害)												浸水注意
雷												突風

黄色の時間帯は、注意報級の現象が予想されています。
赤色の時間帯は、警報級の現象が予想されています。

これからの危険度の高まりを即座に把握できる！

※ 平成29年度出水期から気象庁ホームページでの表示を予定しています。

危険度を色分けした時系列

早い段階から警報級の現象になる可能性を「高」や「中」でお知らせします
～警報級の可能性～
(平成29年度から)

イメージ

〇〇県南部の警報級の可能性
南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

今日～明日
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

明後日～5日先
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

〇〇県南部 種別	8/3 17:00発表					8/3 17:00発表			
	3日		4日			5日	6日	7日	8日
	明け方まで		朝～夜遅く						
大雨	警報級の可能性	中						中	
暴風	警報級の可能性			高			中	高	
波浪	警報級の可能性			高			中	高	

【高】: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
【中】: 【高】ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況。気象台が発表する今後の情報は留意。

今日～明日
前日の夕方以降の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早期までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

明後日～5日先
数日先の荒天について可能性を把握することができます！

※ 平成29年度出水期から気象庁ホームページでの表示を予定しています。

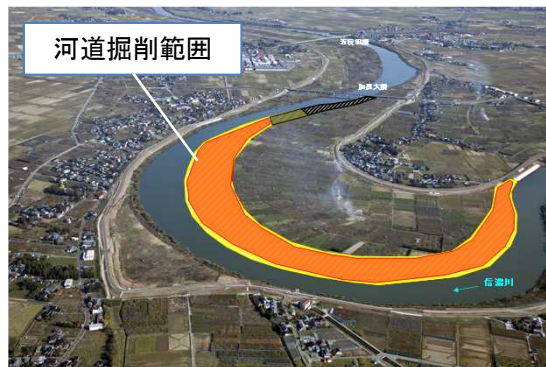
警報級の可能性

減災に係る取組概要
～信濃川下流河川事務所～

(様式2-取組概要)

<p>カテゴリ</p>	<p>1. ハード対策の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 洪水を河川内で安全に流す対策 ■ 危機管理型ハード対策 <p>・河道掘削 ・堤防天端の保護</p>
<p>内容</p>	<p>洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進（山島新田、関屋分水路地区他） 堤防天端の保護（加茂新田、石上、大川津地区）</p>
<p>実施主体</p>	<p>国土交通省信濃川下流河川事務所</p>

山島新田地区 河道掘削実施状況



《着手前》



《施工中》



《H29年3月 施工状況》

石上地区 堤防天端のアスファルト保護実施状況

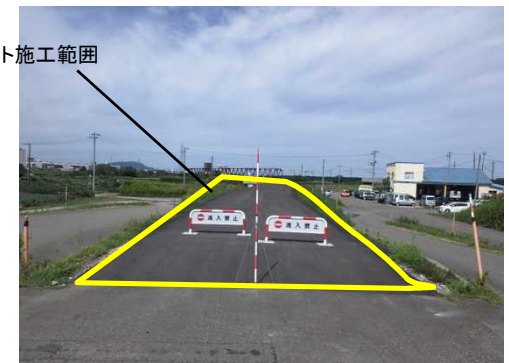


堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす。



《着手前》

アスファルト施工範囲



《完成》

(様式2-取組概要)

<p>カテゴリ</p>	<p>1. ハード対策の主な取組 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置を行う。</p>
<p>内容</p>	<p>簡易水位計、CCTVカメラ・量水標の設置</p>
<p>実施主体</p>	<p>国土交通省信濃川下流河川事務所</p>

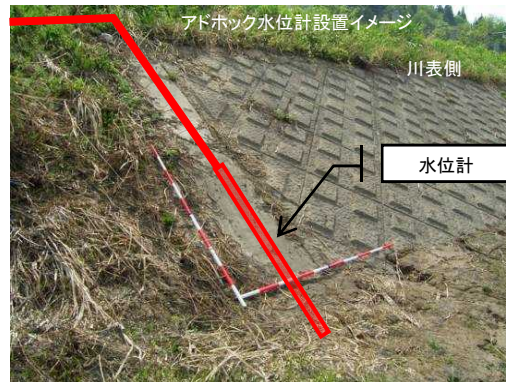
監視強化のため、越水危険箇所に簡易水位計、CCTVカメラ、量水標を設置。

【実施概要】簡易水位計・CCTVカメラは、管内でも特に越水等危険性が高い箇所の監視を目的に設置するものであり、平成28年度は簡易水位計6台、CCTVカメラ4台を設置し監視強化を行っている。

水位計設置状況

凡例

- ▲ 既設基準水位観測所(テレメータ局)
- ▲ 既設水位観測所(テレメータ局)
- アドホック水位計(H28設置中含む)



CCTVカメラ設置状況



(様式2-取組概要)

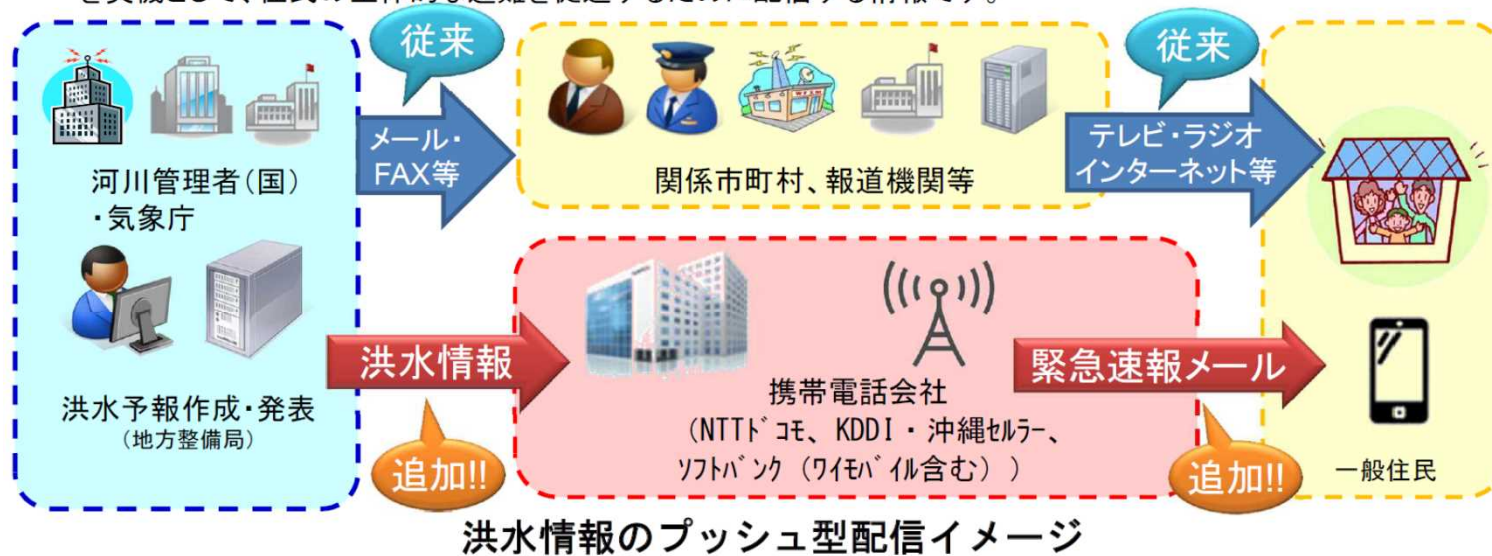
カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■情報伝達、避難計画等に関する事項 ①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信、防災情報の充実
内容	水位・気象情報等の情報発信
実施主体	国土交通省信濃川下流河川事務所

プッシュ型の洪水予報等の情報発信H29.5実施に向け準備中。

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月より国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川自治体（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を取り組んでいます。

北陸地方整備局では、平成29年出水期前から、洪水情報のプッシュ型配信を開始予定。

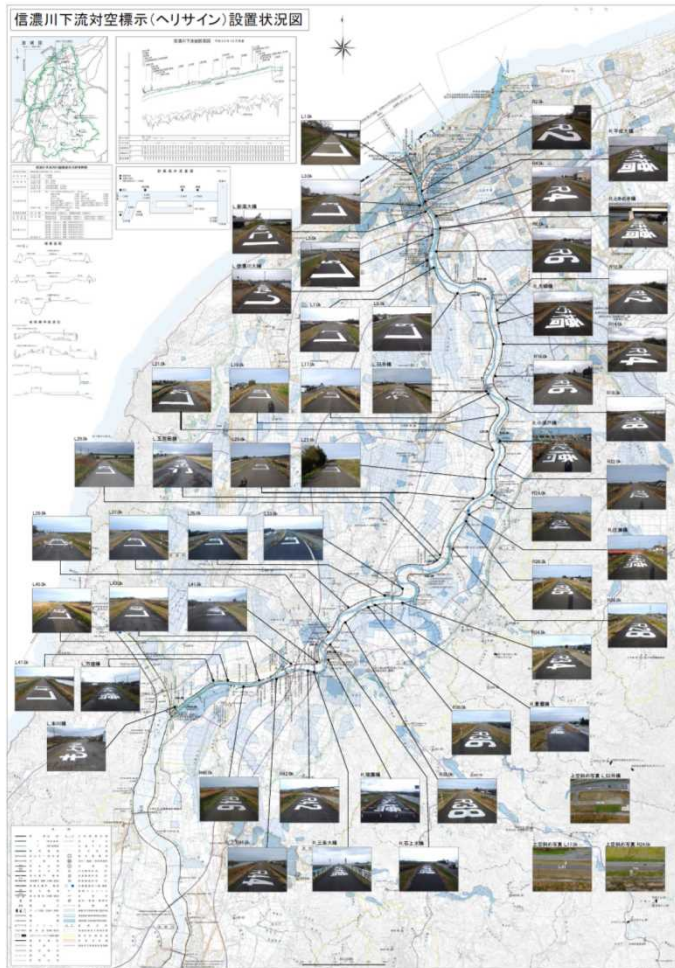
※ 洪水情報とは、指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。



※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

(様式2-取組概要)

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■ 救援・救助活動の効率化に関する取組 ① 大規模災害時の後援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内容	広域支援拠点等の検討・支援
実施主体	国土交通省信濃川下流河川事務所



信濃川下流域対空標示(ヘリサイン) 設置状況

直轄河川管理における対空標示（ヘリサイン）を設置

【実施概要】ヘリサインは、地震・出水等の災害時において、防災ヘリコプター等により上空から河川管理施設の被災及び氾濫状況を把握した位置の特定を迅速に行うことを目的とするものです。

信濃川下流域では、本川下流及び兼用道路等除く堤防天端に「距離標」及び「橋梁名」を設置しました。（H28年度実施）



上空斜め写真 L17.0k



距離標(R38K)



橋梁名(大郷橋)